

「花は心のビタミン」と話す假屋崎省吾さん。11月25日午後、琉球新報社



王朝期の生け花 首里城で再現へ

来月、華道家・假屋崎さん
花をテーマにした催し
「琉球の華みぐい」(沖縄
美ら島財団主催)が来年1
月13〜29日、首里城公園で

ある。華道家の假屋崎省吾さんによる生け花の展示やデモンストレーションを通じた市民との交流がある。假屋崎さんは「世界に誇る文化遺産の首里城で、歴史に基づいた当時の生け花を再現したい」と語り、多くの来場を呼び掛けた。

琉球の華みぐいは、沖縄観光コンベンションビューローの「沖縄花のカーニバル」と海洋博公園で同時期に開催する「美ら海花まつり」と連携。花をテーマに首里城を装飾展示すること

で、同公園への入園・入館促進を図る。

假屋崎さんは、琉球王朝時代に国王が日常の政務や賓客の接待に使った木造建築物「書院・鎖之間」で生け花を展示する。「歴史に基づいて生け花を再現することが、世界文化遺産でやらせ

てもらおう意義。まだ、計画の段階だが、小中高校生たちと交流する『花育』を通して、日本の花文化に関心を高めてもらうきっかけをつくれたら」と意欲を語った。